小倉医師会誌

1 巻頭言
理事 岩田 信彦

2 追悼①『南立純一郎先生を偲んで』
会長 合馬 紘

4 追悼②『月守権一先生がご逝去されました』
専務理事 岡部 道大

5 トピックス①『第145回小倉医師会通常総会会長挨拶』
会長 合馬 紘

7 『第145回小倉医師会通常総会の報告』
専務理事 岡部 道大

11 トピックス②『第41回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会』
専務理事 岡部 道大

13 『第2分科会（臨床検査センター・検診部門）』
理事 今渡 龍一郎

14 『第3分科会（高齢社会事業部門での報告事項）』
理事 加生 忠洋

15 トピックス③『第27回医療安全シンポジウム』
理事 芳賀 照行

17 トピックス④『第18回小倉医師会園医会総会』
園医会庶務 原田 博子

18 トピックス⑤『第1回小倉地区保健・医療・福祉連絡会』
副会長 具嶋 正倫

20 トピックス⑥『第2回在宅医療福祉ネットワーク研修会』
理事 加生 忠洋

22 専門医会だより①『整形外科会親睦旅行』
整形外科会会長 久我 泰朗

24 専門医会だより②『小児科医会臨床懇話会兼ビールパーティ』
小児科医会幹事 平野 稔喜

26 ニューウェーブ北九州（サッカーチーム）の紹介

27 会館リニューアルニュースVol.3
副委員長 具嶋 正倫・1級建築士 大久保 裕文

28 医療職無料職業紹介所だより/29 理事会報告（第5回・第6回）
37 会員異動　―会員の入会・退会・異動報告―/38 訃報/39 医師会事業インフォメーション（検査センター）
40 検査センターだより/42 報告/45 お知らせ/52 あとがき 理事 山家 滋

No.124

8月号
2009

北九州市小倉医師会

産業医活動を始めてみませんか

理事　岩田　信彦

整形外科会より理事を拝命し、産業保険、労災・自賠、入会関係などの担当を仰せつかっております。今回は、嘱託産業医活動についてのご紹介とお勧めです。

日本医師会認定産業医の資格をお持ちの先生は多いと思われますが、活用されていますか。活用されていない先生もかなりいらっしゃると思います。私もその一人ですが・・・。また、資格をお持ちでない先生、取り方は簡単。とは申しませんが、都道府県医師会などの実施する基礎研修50単位以上を終了すると、資格が得られます。時々、産業医科大学で短期習得コースが開催されていますので、他の地域より取りやすい環境です。

それでは、嘱託産業医はどのような仕事をすればよいのでしょうか。
簡単に説明しますと

（１）職場巡視の実施
（２）安全衛生委員会への出席
（３）健康診断の実施とその評価・事後措置の実施
（４）復職診断の実施
（５）衛生教育

などです。

それに最近注目された課題としてのメンタルヘルス、過重労働を考慮して活動されるとよいでしょう。小倉医師会では産業医と事業所の間に入り、斡旋や契約のお手伝いをしています。

小倉医師会内には地域産業保健センターがあります。地域産業保健センターとは、労働者50人未満の小規模事業所へ産業保健サービスを提供すべく国により全国に設置された事業です。小倉地域産業保健センターでは健康相談窓口の開設、個別訪問産業健康指導の実施、産業医育成研修会の開催、市民や労働者への広報活動などを行っています。また、小倉では拡充センターの指定があり、夜間・休日の健康相談窓口も開設されています。具体的には、夜間（毎週水曜日　午後５時～７時)、休日（第２、第４日曜日　午前９時～12時）に、電話当番（自宅または自院）するだけです。もちろん十分な報酬もあります。現在40名近い先生方が登録され、健康相談をしていただいています。まだ産業医活動をされていない先生方も手始めとして参加されてみてはいかがですか。

弔　辞
南立純一郎先生を偲んで

ここに謹んで故南立純一郎先生のご霊前に小倉医師会会員を代表し、悲しくも永遠のお別れの言葉を申し上げます。

満面に笑みを浮かべた元気な先生のお写真の前で、このように惜別の言葉を述べるとは夢想だにせず、大変辛く悲しい気持ちで一杯でございます。

先生は平成８年に前立腺癌の診断を受けましたが、市立医療センターで治療を続けてから元気に診療されていました。医師会の会合や隣組の懇親会などで楽しく盃を酌み交わしながら人生、医師の大先輩として薫陶を受けた日々が鮮やかに思い出され、万感胸に迫る思いです。

先生は昭和５年８月10日に田川郡川崎町で生まれ、戦乱のさなかに旧制五高に入学後、昭和24年九州大学教養部理科を経て医学部医学科に進まれました。医師として病める人々のために一生を捧げるべく勉学に励まれ、昭和30年ご卒業されました。卒業後八幡製鉄所病院でインターンをされ、耳鼻咽喉科教室に入局、昭和37年まで助手を努められました。極めて優秀な若き医学者としてこの間、聴覚の研究に日夜没頭し、骨導聴力測定に関する研究で学位を取得されました。そして日本耳鼻咽喉科学会でも輝かしい業績を重ねられました。

昭和37年に大学を辞され、市立小倉病院に御勤務され、それから終生、小倉の地で尽くされました。昭和40年７月に小倉北区京町で耳鼻咽喉科医院を御開業されました。学者肌の先生は開業にあたって奥様共々御苦労はいかばかりだったかと思います。44年間に亘り専門医としての確かな技術、献身的な医療、温厚篤実なお人柄で地域の人々から深い信頼が寄せられました。

先生は忙しい日常診療のかたわら昭和47年より地元の米町小学校、他多くの小・中学校の学校医を永年にわたり努め、児童生徒が健全な学校生活を送れるよう学校医としての職務を全うされました。

昭和53年より１期２年、小倉医師会の理事として、学校保健問題及び広報担当として、医師会業務にご尽力をいただきました。

平成５年より５年にわたり、北九州市耳鼻咽喉科医会の会長として、積極的に学術研修会を企画・開催するなど、本市耳鼻咽喉科治療の資質の向上に努められるかたわら、学校保健・救急医療対策・耳の日をはじめとした市民への無料健康相談等を行うなど、地域における社会福祉活動にも力を注がれました。

また、県の耳鼻科医会においては、昭和59年から平成10年の長きにわたり理事・副会長・監事の要職を歴任され、この間、臨床内容が感染症対策を中心としたものから、アレルギー疾患や慢性疾患へと変化する中、臨床懇話会や学術情報の提供を通して、会員指導に奔走されました。さらに日本耳鼻咽喉科学会評議員、参与も長く努められました。このように多方面に亘り、永く医師として地域医療の向上と医師会事業の発展に多大な御尽力を頂きました。ここに深く感謝申し上げます。

先生は気さくに酒を楽しみながら実に率直で、全く飾らない、そして物事にこだわらない大らかなお人柄でした。一方、はっきり正論を述べられ、誰からも尊敬と信頼を寄せられていました。

囲碁がご趣味で特に「小倉医師会囲碁愛好クラブ」の幹事を20年近くにわたり、お務めになられ、よく笑顔で「こんな安上がりで頭にいい遊びはないのに、最近の若い人はゴルフばかりで、囲碁の本当の楽しさ、素晴らしさを教えてあげられないのが残念だ」と仰っておられました。

またゴルフも楽しまれ、ふらふら会や小倉医師会ゴルフ会でも活躍されましたが、いつも奥様とおしどりでラウンドされたとお聞きしていました。

先生はご家族を非常に大切にされ、愛情豊かな温かいご家庭を築かれ、２人のお子様に恵まれました。ご長女の裕子さんは高島屋の管理職として中央で御活躍され、ご長男の宏一郎さんは先生のご意思をつがれ医学部に進まれ、産業医科大学勤務の後、平成18年よりアメリカ・シアトルのワシントン大学で麻酔科准教授として世界を舞台に御活躍されています。

必ずや病を克服し、３人のお孫さんに囲まれ、ゆっくり奥様と余生を楽しんでいただきたいと願っていましたが、６月30日に亡くなられたという突然の訃報を受け、ただただ茫然自失言葉もでませんでした。奥様をはじめご家族の方々の悲しみはいかばかりでありましょう。誠に痛恨の極みであります。私たち医師会会員一同、先生のご遺志を受け継ぐとともに、ここに生前の御功績を偲び、また先生の温厚篤実で、広大無辺の暖かな心を追慕しつつ、ご冥福をお祈り申し上げます。

ご遺族の皆様方の前途に限りなきご加護を賜りますようお願い申し上げ、お別れの言葉といたします。安らかにお眠りください。合掌。

北九州市小倉医師会会長　合馬　紘

（平成21年７月２日の葬儀で）

追悼②

月守権一先生がご逝去されました

小倉医師会創立百周年記念祝賀会に、100歳のご高齢をおしてご出席いただいた月守権一先生のご訃報に接しました。

平成21年６月14日にご逝去され、享年101歳でした。

先生は明治40年10月15日のお生まれで、昭和25年10月に小倉医師会に入会され昭和町に月守医院を開業し、その後医院を吉野町に移して地域医療に貢献されました。中島小学校校医を49年間続けられ、北九州市、福岡県より表彰を受けられています。

医師会クリニック検診医でもお世話になり、また、百年誌における小倉医師会テニスクラブの紹介にも記載されていました。

記念式典での矍鑠（かくしゃく）としたご挨拶が思い出されます。　合掌

専務理事　岡部　道大

小倉医師会テニスクラブ
三萩野テニスコートで
（2007/7/1）

小倉医師会
創立百周年記念祝賀会で
（2007/9/29）

第145回小倉医師会通常総会 会長挨拶

合馬　紘

本日は診療でお疲れのところ第145回小倉医師会通常総会に御出席いただき心より御礼申し上げます。

新型インフルエンザの流行は北九州市内でも患者の発生をみましたが幸いまん延傾向はなく、現在、市行政と市医師会で国の指針のもとで秋以降に予想される第二波への対応を検討していますが、今後会員の様々な相談を受けつつ迅速に対応していきたいと考えています。

さて、政府が2002年度予算から続けてきた社会保障費抑制等で2009年度までに総額８兆円もの歳出が削減されます。このため、地域医療をはじめ社会保障がシステムとして機能しなくなり、先日ようやく、来年度の予算編成において社会保障費を2200億円削減しないことが閣議決定しました。しかし骨太方針2006を否定するには至らず完全撤回にむけて日本医師会を中心に活動をより強力に続けて行かなければなりません。来年度は診療報酬改定が行われ、大幅なアップを日医は求めていますが、改定財源の確保と選択と集中と言われる診療報酬の再配分が焦点になりそうです。

このように厳しい医療を取り巻く状況の中ではありますが、私共小倉医師会は平成20年度も皆様の力強い御支援、御協力のおかげで会員、地域に根ざした医師会として様々な活動を円滑にすすめることが出来ました。また各事業部門も多くの課題を抱えてはいますが、会員支援、地域貢献の理念のもと、収支もバランスをとりながら安定した運営を行うことが出来ました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

ここで小倉医師会が当面する大きな課題を２つ程報告させていただきます。

１つは会館リニューアルの件です。３月の総会で御承認をいただき、宇野副会長、岡部専務理事を中心に建設委員会でその内容について鋭意検討を重ねてまいりました。この８月に第一期工事として看護専門学校のリニューアルにとりかかる予定です。そして11月頃には第二期として５階大ホール、玄関、外装などの全面的な工事に入り、再来年３月には完成予定です。今回のリニューアルはあくまでも築後39年と極めて老朽化した会館をあと20～30年は使用することが主目的で、それに加えて機能の向上とイメージアップを考えており、会員の医師会活動および諸事業の拠点としてパワーアップを期待して下さい。

２つめは公益法人制度改革への対応です。小倉医師会は地域に根ざした医師会であり、平成25年12月までの公益認定は必須と考えています。現在その準備として平成22年度予算からの新会計基準導入をすすめています。現在の医師会事業を公益目的事業、収益事業、互助会等共益事業、法人会計の４つに新たに事業区分を検討しなければなりません。小倉医師会は看護専門学校に加えて健診、検査、高齢社会などでの共同利用施設事業に取り組んでいますが、公益法人認定に向けて新会計基準と同時に組織機構改革をすすめていかなければなりません。小倉医師会にとっていわば黒船とも言えるこの大きな課題に現在、公認会計士の指導を受けながら、具嶋副会長を中心としてプロジェクトチームをたちあげ取り組んでいます。

その他の課題としては会員支援と組織強化、そして病診連携を軸とする包括的地域医療ケアの推進です。地域医療を守るためには各医療機関の連携と機能分担が必須です。このため、専門医会、隣組、勤務医部会、私的病院会などの活動がより活発になり、全ての会員が各分野で地域の保健医療福祉活動に取り組める基盤をしっかり構築することが重要と考えています。

のちほど勤務医部会の部会長の丸山先生から病診連携、勤務医部会の活動について御質問をいただくことになっており、両副会長から答えさせて頂きます。

また、レセプトオンライン請求義務化への対応ですが完全義務化はなくなったようで、各種の例外を設ける方針になりましたが、先日の会員アンケート結果と小倉医師会の対応について担当の有留理事からのちほど説明させていただきます。

最後になりますが、小倉医師会は会館リニューアルと公益法人制度改革を機に、より市民に信頼され、市民の健康を守るため医師会活動および事業を強力に推進していきたいと思います。ごく近い内に必ず行われる総選挙、そして来年７月は私共の会員の西島先生の選挙があります。医政活動の重要性を十分御理解いただき、全会員の力を結集して国民のための真の医療を実現させなければなりません。何卒宜しく御支援をお願い致します。そして明日の地域医療、医師会を担う次世代の育成が何より大切です。“継続は力”をモットーとして小倉医師会は前進を続けて参りたいと思います。残された任期は９ヶ月となりましたが、私共執行部は職員と共に心をひとつにして職責を全うしたいと思います。何卒宜しく御指導御鞭撻をお願いして挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第145回小倉医師会 通常総会の報告

専務理事　岡部　道大

第145回小倉医師会通常総会は６月29日月曜日、ホテルクラウンパレス小倉にて、午後７時から開催された。梅雨の最中、多数のご参加を頂き役員一同感謝しております。

なお、総会に先立ち、午後６時半より平成21年度小倉医師互助会定時総会が開かれ、水野守男専務（写真①）の進行にて滞りなく終了したことを報告しておきたい。同時に寿齢会員へのお祝い贈呈がおこなわれ、神義昭先生（写真②）が代表されてお礼のご挨拶があった。

つづいて、今渡理事の司会により、医師会寿齢会員表彰があり（写真③）、太田清彦先生（写真④）より代表挨拶をいただいた。先生は南方戦線より奇跡的に生還し、かつ、この場にいることが幸いであると述べられ、感銘をうけた。また、４期７年間看護学校講師の久我泰朗先生の表彰も行った。

さて、具嶋副会長（写真⑤）の開会の挨拶後、平田議長（写真⑥）が登壇され総会の成立を宣言。梅谷敬哲先生、久我泰朗先生を議事録署名人に指名、快諾された。その後物故会員へ黙祷を捧げた。

合馬会長（写真⑦）の挨拶では、会館リニューアルへの取り組みの現状と、公益法人改革への対応についての説明があり、とくに後者では、小倉医師会は共同利用施設を運営しているため、新会計基準の分析をすすめていると報告

された。

執行部より庶務・事業報告のあと、小倉医師会勤務医部会会長であり医療センター副院長の丸山俊博先生（写真⑧）より、小倉医師会では病診連携を促進するためにどのような方針あるいは具体的なプランをもっているか？との質問があった。

この質問に宇野副会長（写真⑨）と具嶋副会長は、連携はまさに我々が望んでいたことであり、地域医療の最重要テーマであると説明。具体的には、地域連携パスへの積極的参加と支援、地域医療支援病院の推薦を行ったり、運営委員会への委員派遣、在宅医療福祉ネットワークにみられる腹膜透析、JDOIT-2への参加などをあげた。また、われわれ医師会員自身の医療レベル向上にも今以上に努力したい、など広範な考えを示した。

また、坂口祐助先生（写真⑩）のペリネイタルビジットへの取り組みについての記録掲載について要望があり、坂田寛人先生（写真⑪）からは医師の適正配置と自由開業の二律背反についての提案があった。

続いて議案審議に入り、第１～７号議案一括上程、市吉理事より会計決算の議案説明があった。

ひきつづき平成20年度会計監査報告があり、会計収支は正確であり、会務執行状況も良好であると杉本監事（写真⑫）より報告され、賛成多数で可決、承認された（写真⑬）。

医療情報担当の有留理事（写真⑭）より今回実施したレセプトオンライン請求についてのアンケート調査の報告があった。準備の出来ていない会員の相談に積極的に取り組む所存である。

宇野副会長による閉会挨拶で閉会。つづいて福岡県医師連盟大郷勝三先生（写真⑮）から西島英利参議院議員の来夏選挙支援お願いの挨拶があった。

隣室で懇親会（写真⑯⑰⑱⑲）を行い、合馬会長の挨拶、平田議長の乾杯（写真⑳）に引き続き、西島英利参議院議員よりのメッセージ披露があり、また、間近に迫った衆議院議員選挙のために、10区西川京子議員、常任顧問児玉正道さん（写真㉑右）の挨拶があった。解散期日がはっきりしない中での演説となったが、選挙への新たな覚悟を聞かせてもらった。

最後に、牧坂副議長（写真㉒）の万歳三唱でお開きとなった。

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑬

⑫

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

第41回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会

専務理事　岡部　道大

第41回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会は平成21年７月４日土曜日～５日日曜日、ホテルニューオータニ博多で開催された。福岡市医師会会長の宮崎良春先生が今回の連絡協議会会長である。４日午後３時20分会長開会挨拶。共同利用施設は地域住民のあらゆる面を総合的に支えている象徴的な事業であり、この協議会は事業の効率化、取り組み、問題提起に対して情報の共有化を行うと述べられた。

来賓祝辞を唐澤日医会長（代読で竹嶋副会長）は、かかりつけ医の拠点として施設を継続させ、厳しい運営、過酷な状況に対処して欲しいと述べられた。つぎに横倉県医師会長は、九州には医師会病院が多く、厳しい運営が続いている、昭和42年から始まったこの会には長い歴史があると話された。

基調講演は日医常任理事の今村聡先生（写真①）による「公益法人制度改革と共同利用施設について」で、パワーポイントでの講演であった。公益法人用と一般法人用の案を分析して、どちらが将来的によいかを考え、始めから公益法人ありきではいけないと指摘された。

第２分科会検査・検診部門の今渡理事（写真②）は保健指導の高い受診率を評価され、アカデミックな報告と絶賛を受けた。第３分科会高齢社会事業部門の加生理事（写真③）はアンケートをベースに事業を緻密に分析し、実態に裏付けられた報告と評価された。次項で短信していただく。

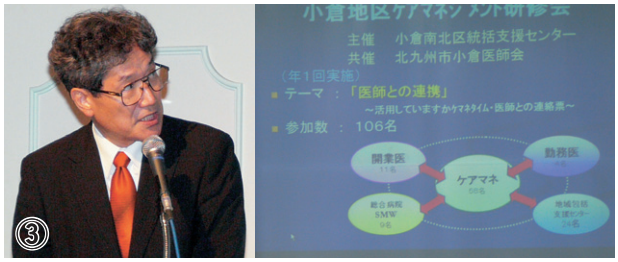
予定をやや遅れて午後６時45分から懇親会が始まり、麻生知事の来賓挨拶（写真④）などがあり、博多祇園山笠振興会による「博多祝いうたと１本締め」が花

を添えた。

翌朝は９時から各分科会報告、つづいて西島英利参議院議員（写真⑤）による「中央情勢について」の講演があり、臓器移植と脳死には国民のコンセンサスがまだないが、子供の希望を奪ってよいのかと法案審議を見守っているとのこと。また社会保障の課題として、その財源確保を消費税にもとめると、負担先送りをしない不退転の姿勢をしめされた。

最後のイベントは特別講演の「小さすぎる政府の医療政策と日本の医療保険」と題し、慶應義塾大学商学部の権丈善一（けんじょう・よしかず）教授（写真⑥）が75分間熱弁をふるわれた。負担増のビジョンを示さない政党には拒否権を発動すべし！　社会保障を財源なしでやれと言っても無理、どこから財源をもってくるのか？負担先送りの戦略は選挙には強いかもしれないが、国民を不幸にする！負担増がない間中、社会保障の機能強化が先送りされるからだ。以上、明快に日本の現状を解説された。

会場を出ると、暑い夏の陽差しが燦々。次回は、鹿児島であるらしい。鹿児島は暑いだろうなあ。



第２分科会
（臨床検査センター・検診部門）

小倉医師会健診センター担当理事　今渡　龍一郎

私は第２分科会（臨床検査センター・検診部門）において、以下の４点について発表しました。

１．基本健診から特定健診移行後の状況
２．特定保健指導の実績
３．健診結果から見えるもの
４．健診センターの対応と今後の課題

昨年度の熊本では、健診・保健指導の体制づくりや行政との交渉などが多く発表されましたが、今回は新健診が開始されて既に１年を経過していることもあり、全体像が見える中で充分な報告が出来たと考えています。私を含め４医師会からの発表がありましたが、その中でも、現在稼動している北九州市システムの完成度は高く、見事なシステムであることを改めて確認しました。

発表では、まず特定健診移行後、保険者別の縦割り健診の影響で当健診センターの収益が激減したことを報告しました。しかし、当健診センターでの保健指導率は良好で、動機づけ支援89％、積極的支援は５月末日で67％が継続支援中です。また、昨年度の１万6,000例を超える健診データを分析して報告をしました。中でも健診票の質問項目とメタボの関連要因を多変量解析したデータには注目が集まりました。今後の課題は受診率の向上に尽きます。北九州市の健診受診率は、昨年度目標25％に対し21.5％（暫定）と健闘はしましたが、他医師会の報告でも概ね20％台であり、全体的に低い印象でした。本年度は35％、来年度は45％と受診率目標のハードルが徐々に高くなります。多大な困難を感じますが、北九州市医師会、行政との連携を緊密にして受診者数の確保に努めなければならないと考えています。最後に、今回の発表を通して、当健診センターにおける特定健診・特定保健指導へのあらゆる取り組みは、他医師会と比較して先進的であり、今後も指導的役割を果たしていかなければならないと思いました。

ま と め

特定健診・特定保健指導から１年を経過して

1. 基本健診から特定健診に移行して、受診者数の大幅な減少を認めたが、保健指導率は良好であった。
2. 健診結果の解析より、今後の問題点などを報告した。
3. 保健指導の標準化とスキルアップ、チームワーク保持のため定期研修会の継続が必要である。
4. 受診率向上のためには、市民センターとの連携強化が必須である。
5. 当健診センターは、特定健診・特定保健指導を通して地域住民の健康管理に積極的貢献を志したい。

第３分科会
（高齢社会事業部門での報告事項）

高齢社会事業担当理事　加生　忠洋

テーマ「小倉医師会における在宅医療福祉ネットワークの現状と課題」
～高齢社会事業を中心にして～

小倉医師会では、訪問看護ステーションを手始めに、次々に介護事業を開設し、「共同利用施設を通して会員の診療支援を行う」「在宅高齢者に良質の介護サービスを医療と一体的に提供する」「事業を通して保健・医療・福祉及び地域の連携のもとに地域ケアの充実に貢献する」を基本理念に、公益法人としての役割を果たし、加えて会員への在宅医療の更なる支援策として、吸引器・パルスオキシメーター等の機器の無償貸出し事業も併せて運営してきた。

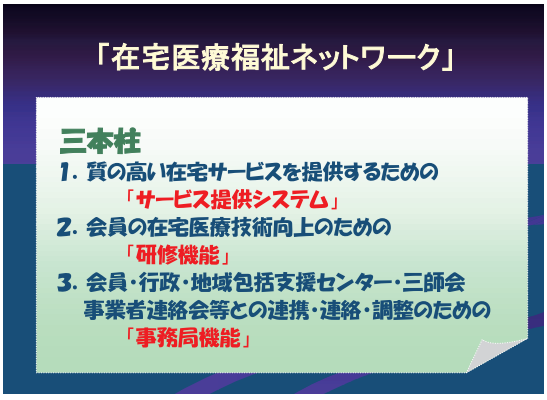
また、「小倉介護サービス事業者連絡会」や「小倉南北訪問看護事業者連絡会」など様々な運営・研修等の中心的な役割を果たし、小倉地区における地域ケアの充実にも寄与してきた。

介護保険制度も10年目となる今年度、これまでの共同利用施設の運営を基礎にして、「在宅医療に取り組む会員」をより強力に支援できる体制を再構築する事を目的に三本柱を掲げ「在宅医療・福祉ネットワーク検討委員会」を設立する。先ず会員の在宅医療に対する取り組みの現状・希望等を把握するためにアンケートを実施しその結果をもとに、まずは会員の在宅医療技術向上のための「研修機能」の充実を図るため、研修会を定期的に開催する等、取り組みをはじめた。

医療と介護のより緊密な連携は勿論、３年後の診療報酬、介護報酬の同時改定と新公益法人制度改革を視野に入れて、会員がより積極的に在宅医療に取り組み、地域ケアに貢献できる基盤整備をすすめていきたい。

以上の様な内容で15分と言う短い時間ではありましたが、第３分科会にて、高齢社会事業担当理事として、今までの取り組みと今後の課題について報告致しました。フロアからは、「認知症に対するネットワークの取り組みは？」「医療機器無償貸出でのサプライ（医療材料等の供給）業務はどうなっているのか？」等の意見もあり、含めて今後の課題として取り組みたいと思います。

今後も先生方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



第27回小倉医師会 医療安全シンポジウム

医療安全対策担当理事　芳賀　照行

平成21年７月７日（火）、医療安全シンポジウムが参加者269名で開催された。今回のテーマは「注射に関する医療安全」。具嶋副会長の挨拶のあと北九州市立医療センター有馬透副院長が座長となり２人のシンポジストが発表を行った。

１.「北九州市における注射に関係する医事紛争について」

小倉医師会　医事調停担当理事　井田　能成　小倉蒲生病院院長

北九州市において過去10年間の医事紛争件数は年20～30件、そのうち４～５件ほどが注射関係のものである。全案件は235件で、うち47件（18.7％）が注射に関したものである。要因別としてはブロック麻酔と静脈注射に関するものが過半数をしめており、その他にトリガーポイント注射、採血、筋肉注射があった。次に具体的事例として腰部硬膜外ブロックによる感染や下肢麻酔、正中静脈からの採血後の疼痛障害、ケナコルト皮下注射後の瘢痕などが紹介された。注射に関する事例は結果として避けられない事が多いが早めに処置、対応が必要ではないかと話された。

２.「採血時の神経損傷を防ぐ」

北九州市立医療センター　麻酔科　眞鍋　治彦　主任部長

まず採血時の神経損傷による具体的事例を紹介。その原因は末梢神経損傷によるCRPS（Complex Regional Pain Syndrome）であると考えられる。CRPSの特徴は後遺障害を残すものは２万～３万例に１例、女性に多く、肘部や手首からの穿刺が大多数、後遺障害をきたすと非常に治療困難で穿刺時には症状なく半日たって症状出現するものもあり、このような場合血腫による圧迫が考えられる。予防策としては尺側皮静脈と撓骨皮静脈からの採血

はそれぞれ正中神経と撓骨神経浅枝を損傷しやすいため、その２ヶ所の静脈からの採血は避けるべきである。また血液の逆流がない場合、さらに深いところを刺さないことが特に重要である。穿刺時の痛みなどを訴えたときはただちに抜針し圧迫止血することをすすめる。

このあと活発なディスカッションがあった。採血の部位で一番安全なのは手背。針の太さは血腫の大きさに影響するので21Ｇよりは23Ｇが良いのではないか。硬膜外ブロック後の下肢麻痺の原因は神経損傷ではなく感染の可能性が高い。病院より診療所の方が紛争事例は多いなどの話があった。また医師会顧問弁護士の川口晴司氏が注射の事故では100％医師が訴えられ管理責任が問われる。結果として責任がないと判断されるものは患者が採血時に動いたなど特殊な例のみであることが紹介された。

井田先生には注射に関係した医事紛争の具体例を示していただき、また眞鍋先生には麻酔科医の立場から採血時の末梢神経損傷を防ぐため工夫を教えていただき出席の医師および医療関係者の方々のお役に立てたのではないかと思った。また有馬先生のおかげで予定の20時30分に盛会のうちに終了することができた。

第18回　小倉医師会園医会総会
（平成21年６月25日　クラウンパレス小倉にて開催）

小倉医師会園医会庶務
嘉武医院　原田　博子

小倉医師会園医会総会は年に一度開催される。

今年度の総会は、合馬紘会長の挨拶で始まり、あだち古賀クリニックの古賀美津子先生に議長を務めていただき、議事を進行した。

【総会】　小倉医師会園医会会員61名に対して、出席者35名・委任状17名で過半数を満たしており総会は成立した。

議事は嘉武医院の原田より庶務報告、ゆたかクリニックの古賀豊先生より会計報告、坂口こどもクリニックの坂口祐助先生より監査報告、同じく古賀豊先生より今年度の予算案を説明した。いずれも会員の承認を得て、滞りなく議事を終了した。

【講演会】　「発達障害幼児の指導と園との連携」という演題で北九州市立療育センターから心理士の尾首雅亮先生と保育士の徳田理恵先生を講師にお招きして講演をしていただいた。

日常生活の大半を過ごす園において初めて、他人（周囲）への関心や行動に問題点が発見されることもある。家庭では気づかれていないこともあり、園と園医・家庭・療育センター・かかりつけ医が上手く連携をとり、子どもごとに抱えている問題に向かいあう必要がある。センターでは具体的にどんな取り組みをしているのかを知ることにより、私達医師が「するべきこと、できること」をあらためて考えるきっかけになったと思う。初診の待機期間が４ヶ月とも言われている総合療育センターの各先生方には過飽和状態の中ご指導いただき、深い感謝の意を表したい。

【懇親会】　講演会後の懇親会では、講師の先生方に更に詳しいお話をうかがったり、医師間での意見交換も盛んに行われ、楽しいひとときを過ごした。しかし毎年のことではあるが、せっかくの美味しいお料理が沢山残ってしまうのがとてもECOでなく、来年からはもっと多くの先生方の懇親会参加をお願いしたいと思う。

平成21年度第１回 小倉地区保健・医療・福祉連絡会

副会長　具嶋　正倫

平成21年度第１回「小倉地区保健・医療・福祉連絡会」が平成21年７月９日に開催された。この会は地域における保健、医療、福祉の活動を推進する為に小倉医師会と小倉南北行政とで意見交換を行う会で医師会側からは推進協担当理事、行政からは保健福祉課、生活支援課の担当課長、係長が出席し、始めに合馬会長と北区生活支援課長の挨拶の後以下の課題ですすめられた。

１．小倉南北区役所組織について　南北区生活支援課

２．いのちをつなぐネットワーク事業について　担当課

昨年より始まった孤独死防止のための「見つける」「つなげる」「見守る」ネットワーク事業で、徐々に相談件数も増え民生委員との連携づくりの大切さが報告された。

３．特定健診、特定保健指導について　今渡理事

医師会健診センターにおける特定健診、特定保健指導の取組みについて報告され、積極的支援67％、動機づけ支援89％と高い実施率であったが、市の職員の実施率は低いとの指摘があった。北九州市における健診受診率は21％と健闘したものの今後の受診率増加の対策が必要である。

４．小倉介護サービス事業者連絡会の運営状況について　加生理事

介護保険スタートに伴い介護サービスを提供する事業者間の連携推進、情報交換を行い、質の高いサービスを提供する目的で設立された連絡会で、施設部会、居宅支援部会、居宅サービス部会の３部会からなり各部会の活動報告がされた。

5．小倉南北推進協議会の今後について　　加生、今渡、山家理事

小倉南北推進協議会の21年度の事業計画が報告され、今年度は北の健康生きがい部会と子育て部会で「食と健康を学ぼう2010－食育について」開催予定も報告された。合馬会長より行政に対しもっと熱い気持ちで推進協に取り組んでほしいむねが述べられた。

6．市民センターを拠点とした健康づくり事業　　南北区生活支援課

中島市民センターに始まった健康づくり事業は20年度までに北九州市内62校区で実施されている。21年度は北で日明、富野、南は朽網、守恒校区で実施される。

7．地域包括支援センターの現状について　　統括支援センター

年間北で47,070件、南で59,731件と多くの相談件数があり、相談内容も医療、福祉、認知症、権利擁護、経済的な問題の相談が増えている現状が報告された。

7つの議題いずれも医師会、行政の連携なくしては出来ない事業であり予定時間を大幅にオーバーし情報交換が行われた。

「第２回　在宅医療福祉ネットワーク研修」の報告

高齢社会事業担当理事　加生　忠洋

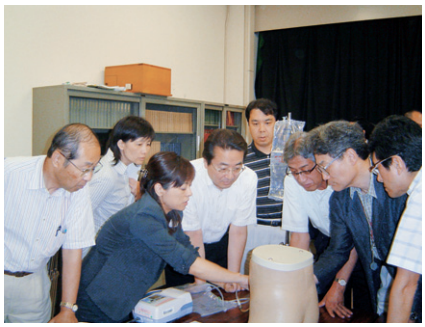
これまでの共同利用施設の運営を基礎に「在宅医療に取り組む医師会員」をより強力に支援できる体制を再構築することを目的に「在宅医療福祉ネットワーク事業」がスタートし、先日第１回目の研修会（４月17日）を開催した旨、ご報告（会誌６月号№122）致しましたが、今回その第２回目として、下記のとおり研修会を開催致しました。

記

日　　時　：　６月23日（火）　19時～20時30分
場　　所　：　小倉医師会館　４階　第２会議室
テ ー マ　：　**「日常の診療における腹膜透析の実際」**
参 加 者　：　37名（会員23名・医療ｽﾀｯﾌ４名・高齢社会事業課職員10名）

講師には、前回に引き続き「腹膜透析」に先進的に取組んでおられる小倉記念病院の腎臓内科部長　金井英俊先生、及び同病院腎臓内科副部長　篠崎倫哉先生をお招きし、前回の復習も交え、たいへんわかりやすく講演していただき、講演後には、前回同様「腹膜透析の方法」について、デモ器を使用した実演も行なわれました。

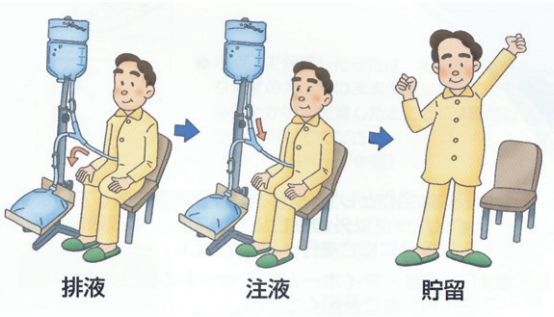
記念病院腎臓内科副部長　篠崎倫哉先生



腹膜透析のデモを熱心に聴かれる先生方

現在、当医師会訪問看護ステーションでは、小倉記念病院腎臓内科からの依頼を受け、在宅で腹膜透析をしている利用者へ訪問看護を提供するケースが多くなっております。

しかし、在宅での「かかりつけ医」がいないのが現状の様です。



CAPD記録ノートの記入方法

平成14年 8月 9日 金曜日

	交換時刻	6° ~	12°~	17°~	22°~	~
①	透析液濃度	(1.5)・2.5・4.25・E	(1.5)・2.5・4.25・E	(1.5)・2.5・4.25・E	(1.5)・2.5・4.25・E	
	排液量(g)	2050 g	2300 g	2300 g	2100 g	g
	注液量(g)	2000 g	2000 g	2000 g	2000 g	g
②	除水量(g)	50 g	300 g	300 g	100 g	g
	排液時間	15分	20分	20分	15分	分
③	排液の確認	(正常) フィブリン 混濁 他( )	(正常) フィブリン 混濁 他( )	(正常) フィブリン 混濁 他( )	(正常) フィブリン 混濁 他( )	正常 フィブリン 混濁 他( )

④	一日の総除水量	750 g	体重	60 kg	⑥ 備考 定期外来日
	尿量	300 ml	排便	1 回	
	飲水量	1200 ml	血圧	130/80 mmHg	
⑤	出口部の状態	(正常) 赤み・痛み・はれ・かさぶた・じゅくじゅく 出血・膿(色) その他			

在宅で腹膜透析をされている利用者

この研修会は、今後在宅での治療の増加が考えられる「腹膜透析患者のかかりつけ医」の必要性を踏まえ、「在宅医療福祉ネットワーク事業」の三本柱の１つである「会員の在宅医療技術向上のための研修機能」の充実を第一に開催しております。

今回の講演内容は、実際に患者さんがどのようにして腹膜透析をされているかを詳細に、そして主治医としての外来管理のポイントについて、わかりやすく説明がありましした。

参加された先生方は、実際の腹膜透析機器を眼でみて、これなら在宅診療が可能と思われたと確信しております。

この「腹膜透析」の研修会は３回シリーズで予定しておりますので、今回出席できなかった先生方も、ぜひ次回（９月予定）ご出席いただければ幸いです。

「在宅医療福祉ネットワーク」の三本柱

１．質の高い在宅サービスを提供するための「サービス提供システム」
２．会員の在宅医療技術向上のための「研修機能」
３．会員・行政・地域包括支援センター・三師会・事業者連絡会などの連携・連絡・調整のための「事務局機能」

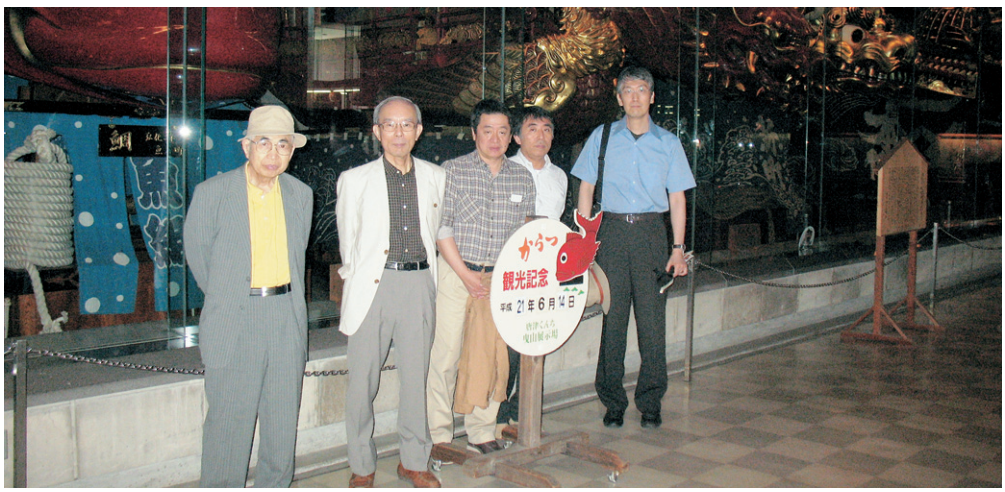
唐津・老舗の宿
「水野旅館」宿泊の旅

小倉整形外科会会長　久我　泰朗

整形外科会の親睦旅行として、６月に唐津へ行ってまいりましたのでご報告します。会の旅行は以前まで日本各地の歴史探訪の旅や寺院巡り等でした。しかし、最近旅行の趣旨が変わってきています。「普段宿泊できない宿でおいしい料理を食べたい」「ゴルフがしたい」等の会員の希望に沿って、２年前は湯布院山荘「無量塔」に宿泊。今回は唐津の「水野旅館」に決定しました。旅行幹事の西見先生が毎回手を尽くして宿を探し企画してくれます。

今回の参加者は、大先輩の藤川先生、前会長の高田先生、以下、猪原、佐藤、手島（鍛）、西見、松原、森本、和田（政）先生と私の10名でした。参加人数が少ないですが、西日本整災の学会と日程が重なり勉強熱心な先生はそちらに出席されたようです。本当にごめんなさい。

６月13日（土）午後２時半に、小型貸切りバスで小倉を出発。やや若めのバスガイドによる軽快なスピーチを聞きながらバスは一路西へ。有名な「虹の松原」を抜けて、松原小夜姫伝説が残る「鏡山」に立ち寄りました。濃霧のため、山頂からの眺望がきかず残念でした。５時過ぎに唐津城の城内にある水野旅館に到着。



曳山展示場

藤川　　高田　　森本　久我　西見

（敬称略）

閑静な小道を歩くと、名護屋城の廃材を利用して造った荘重な武家屋敷門が我々を迎えてくれて、一同すでに満足顔。宿泊客は我々ともう一組だけというゆったりした雰囲気の中、とても寛げました。入浴後、唐津湾の西の浜海岸と唐津城を借景にした部屋に案内され、趣向を凝らした海の幸満載の料理に舌鼓をうちました。地酒や焼酎を飲みつつ硬軟入り乱れた話題で多いに盛り上がりました。

6月14日（日）先生方の普段の心掛けが良いためか朝から快晴。7時半に、ゴルフ組の猪原、佐藤、松原、和田（政）先生は佐賀ロイヤルゴルフクラブへ出発。観光組は9時から市内観光へ。「唐津くんち」の主役である14台の曳山を収納している「曳山展示館」、明治時代に石炭で財を成した炭鉱主の豪邸である「旧高取邸」、唐津のシンボルである「唐津城」と見て回りました。唐津城の天守閣からの眺めは絶景で、唐津の町並みと島々が点在する玄界灘が望めました。正午過ぎにステーキハウス「蜂」にて昼食。お昼にワインを飲みつつシェフが焼いてくれる佐賀牛を味わえるなんて、まさに旅行の醍醐味ですね。ゴルフ場に立ち寄り、日焼けしたゴルフ組の先生方と合流して帰路へ。5時半に小倉医師会館に到着して今回の旅は無事終了。参加された先生方はお疲れ様でした。

最後に、西見先生、次回も幹事をよろしく願いします。

水野旅館にて（唐津城をバックに）

和田（政）　松原　猪原　佐藤

西見　高田　藤川　久我　森本　手島（鍛）

（敬称略）

32周年記念講演会・ビールパーティ
（第316回小倉小児科医会臨床懇話会）

小倉小児科医会幹事
臨床懇話会担当　平野　稔喜

恒例の記念講演会・ビールパーティを今年も例年通り７月の第２木曜日にあたる７月９日18時30分よりホテルクラウンパレス小倉にて行いました。

今回の記念講演には福岡大学小児科主任教授廣瀬伸一先生に来ていただき、「熱性けいれん－臨床遺伝学から最新分子生物学まで－」の演題でご講演していただきました。演題が研究的内容を思わせるものでしたが、実際の講演は臨床の現場に即した内容で会員の方々にも大変好評でした。講演終了後これも恒例になっている演者も含めた全員による記念撮影を行い、引き続きビールパーティが行われました。

ビールパーティはまず小倉小児科医会会長岸田邦雄先生の挨拶に始まり、特別講演をして頂いた廣瀬教授の一言に続き、国立病院機構小倉医療センター統括部長山下博徳先生の乾杯で懇親会が開始となりました。パーティ中に小倉小児科医会役員紹介、各病院・スタッフ紹介を行い、沖田脩先生の万歳三唱で中締めを行い、21時に閉会となりました。参加者74名で楽しく有意義な時間を過ごすことができたと思います。

32周年記念講演会記念写真

左より　小倉小児科医会会長 岸田邦雄先生、
福岡大学小児科主任教授 廣瀬伸一先生、
小倉小児科医会幹事（当日の座長）平野英敏先生

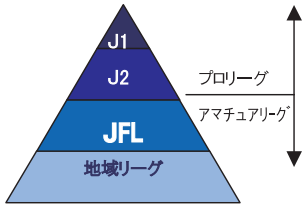
病院紹介（北九州市立医療センター）

佐藤(克)　南(裕)　吉田(ゆ)　平岡　白石(逸)　藤尾　吉田(雄)(敬称略)

子どもたちに夢と感動を。　来年、2010年Jリーグ参入を目ざす。

ニューウェーブ北九州

日本のサッカーリーグ構造



ニューウェーブ北九州は、
現在、**JFL**に所属している。

「子どもたちの憧れのプロスポーツチームを北九州に！」「北九州市民の誇りであり、まちのシンボルとなるプロスポーツチームを！」このような夢を掲げ、2001 年に市民サッカーチーム「ニューウェーブ北九州」が誕生しました。

“わがまちのチーム”の活躍は、人々に夢や感動を与え、地域に一体感をもたらし、地域のイメージアップや活性化につながります。Jリーグという大規模なスポーツイベントを地元で定期的に開催できれば大きな経済効果も期待できます。

これらの夢を実現させる原動力は、皆さまの声援です。小倉医師会の皆様、是非、スタジアムに足を運んでいただき選手に熱い声援をお願い致します。

株式会社ニューウェーブ北九州の方向性

- ■ 子どもたちに夢と感動を与え、市民に愛され、市民が誇りに思うスポーツクラブでありたい。
- ■ 「スポーツでもっと幸せな街へ」をテーマにサッカー以外の種目も楽しむことができる総合型スポーツクラブを目指す。
- ■ ニューウェーブ北九州を応援することで市民が一体となり、北九州地域が一つとなって盛り上がり、元気になるための「地域のシンボル」クラブでありたい。

【Jリーグ参入条件】

- ○ ＪＦＬ年間順位が４以内であること
  - → ＪＦＬ前期日程を終え、５位
- ○ ＪＦＬでのホームゲーム平均入場者数が3,000 人以上であること
  - → ＪＦＬ前期日程を終え、平均入場者　３，４３２人
- ○ 後援会・サポターズクラブ等の支援体制が整っていること　　‥‥など
  - → 後援会約２４０社、サポーターズクラブ約３，０００人

現在、サポーターズクラブ会員「１０，０００人」を目指しています。
様々な特典がありますので、是非ご加入下さい。よろしくお願いします。

お問合せ　㈱ニューウェーブ北九州 TEL/093-863-6777　FAX/093-863-6666

1．リニューアル建設委員会メンバーの声

副委員長　具嶋　正倫

平成21年１月30日に12名のメンバーのもと第１回建設委員会を開催し全員で会館を巡視した。多くの会員は１階エントランスホールから５階講堂を訪れた事はあるが、屋上、６階機械室、５階舞台裏、地下電気室、受水槽等は今まで足を踏み入れた事がなく、つぶさに点検して回った。老朽化した部分があるものの堅牢な建物であった。しかし、全体的に多くの資料等が雑然と積み重ねられており、物置として使用されている部屋が幾つかあり、リニューアルは整頓するいい機会であると意見が一致、利用法については今後検討していきたい。

現在８月からの第１期工事（看護学校改装工事）に向けて会員に広く施工業者の紹介を依頼したが、第６回委員会において３つの基準のもと５社の見積参加者を選定した。６月26日の理事会で承認を受けて見積もりを依頼、７月24日の理事会で施工業者を決定、８月１日より工事着手予定である。

2．リニューアル建設委員会報告 その３

１級建築士・博士（芸術工学）
リニューアルアドバイザー　大久保　裕文

第１期工事の施工会社の選定が、６月から始まりました。小倉医師会の全会員へ施工会社の紹介をお願いした結果、22社が挙げられました。一方、建設委員会では次の３つの選定基準を定めました。

①北九州市内に本社があること。

地域振興と円滑な対応への期待です。

②北九州市役所にＡランクの建設業登録がされていること。

建築工事に対する仕様基準の熟知と信頼度があるとの考えです。

③建築工事の施工実績が、年間10億円以上あること。

一定の資金力等があるとの考えです。

検討の結果５社を選出し、理事会で決定されました。

７月３日に実施設計図71枚を５社に渡し、翌日は各社に現場説明をし、７月14日には見積書が提出されました。その後、７月24日の理事会で第１期工事の施工会社の審議が行われました。

医療職無料職業紹介所だより

ご連絡・ご相談は　TEL　513-1120　まで

―― 職を求めています ――

准看護師	・常　勤	２名
〃	・パート	２名
看護師	・常　勤	１名
医療事務	・常　勤	４名
〃	・パート	１名
介護職	・常　勤	１名
薬剤師	・常　勤	１名
管理栄養士	・常　勤	１名

第５回理事会議事録

※日　時　平成21年6月12日（金）午後７時00分～午後９時40分
※場　所　小倉医師会理事会議室
※出席者　合馬、具嶋、宇野、岡部、今渡、市吉、大久保、加生、井田、岩田
木村、山家、井上、嘉多山、濵之上、添田、芳賀、田中、有留、松村
松本　（監事）米良、杉本、澄井

会　長　挨　拶

景気はほのかに回復の兆しが見られますが、まだまだ厳しい状況が続きそうです。お手元に６月10日の日本経済新聞記事をお配りしていますが、来年の国の予算編成に向けて財政制度等審議会が意見書を出しています。多くが社会保障関係であり、規制強化と規制緩和を組み合わせてわが国の医療制度の制度疲労に対してどのように対応するかの内容です。医師の診療科の選択に一定の制限を加え、さらに、患者がどの病院や診療所でも自由に受診できるフリーアクセスも見直す等かなり踏み込んだ内容となっています。社会保障費の長期に亘る抑制によって、地域医療が崩壊の危機に瀕しているにもかかわらず、またこのような問題が出ていることに怒りを感じております。開業医、勤務医が一体となって戦うべきではないかと思っております。

もう一つの問題は、臓器移植法改正法案が国会に提出されており、Ａ案とＤ案に議論が集中していますが、問題は、脳死を人の死として社会的に受け入れられるかどうかということで議論が繰り返されています。死生観、倫理観、宗教観などが係るので、衆議院の厚生労働委員会だけで議論する問題ではないということで、国会議員全員で審議することになりそうです。一番難しいのは、意見がまとまらずそのために法案が成立しない可能性があります。移植を一刻も早く待っている患者さんには生命にかかわることであり国会での審議に注目したいと思っています。

新型インフルエンザにつきましては、市医師会からの報告や蔓延した場合に会員医療機関がどのように対応するのかについても市医師会から小倉医師会の対応をまとめて欲しいという依頼が来ておりますので後ほど協議をお願いいたします。

【協議事項】

１．平成20年度各会計決算（案）について　市吉理事
・別紙、決算案のとおり総会に提案したい。　〔承　認〕

2．第145回通常総会告示（案）について　岡部専務理事

1．日　時：　平成21年６月29日（月）午後７時
2．場　所：　ホテルクラウンパレス小倉
3．目　的：　議案について審議決定を行う
4．報　告：　（１）平成20年度庶務・事業報告
　　（２）平成20年度会計監査報告
5．審議事項
　第１号議案 平成20年度 一般会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第２号議案 平成20年度 地域保健会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第３号議案 平成20年度 臨床検査会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第４号議案 平成20年度 高齢社会事業特別会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第５号議案 平成20年度 会館管理特別会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第６号議案 平成20年度 看護専門学校特別会計歳入歳出決算に関し承認を求める件
　第７号議案 平成20年度 労働保険事務組合決算に関し承認を求める件
6．表　彰
　・小倉医師会寿齢会員の表彰
　・小倉看護専門学校講師の表彰

・上記のとおり告示したい。　〔承　認〕

3．平成20年度庶務・事業報告について　岡部専務理事

・別紙、庶務・事業報告のとおり総会に提案したい。　〔承　認〕

4．小倉医師会寿齢会員並びに看護専門学校講師の表彰について　岡部専務理事

・米寿　最所保夫先生　・米寿　入江チヨ子先生
・米寿　太田清彦先生　・米寿　平野芳孝先生
・米寿　佐藤　晋先生　・古希　林　皓　先生
・古希　安田英雄先生　・古希　平野　忠先生
・古希　田辺健一先生　・古希　天ヶ瀬洋正先生
・古希　三保木良美先生　・古希　大江久圀先生

看護師科
・４期７年間　久我泰朗先生　〔承　認〕

5．健和会大手町病院の地域医療支援病院運営委員推薦について　岡部専務理事

・合馬会長、宇野副会長、市吉理事を推薦する。　〔承　認〕

6．医療刑務所医師派遣について　岡部専務理事
・外科会から推薦された、八木光博先生を推薦する。　〔承　認〕

7．「ほっとステーション出前講演」の依頼について　山 家 理 事
・日　時：平成21年６月25日（木）12：45～13：45
会　場：若宮公民館
テーマ：「脳血管障害について」
講　師：片山成二　先生
・日　時：平成21年６月29日（月）10：00～12：00
会　場：湯川市民センター
テーマ：「老々介護を支える在宅医療」
講　師：山家　滋　先生
・日　時：平成21年７月26日（日）13：40～14：10
会　場：小倉南生涯学習センター　４階大ホール
テーマ：「生活習慣病の治療が認知症を予防する」
講　師：石束隆男　先生
〔承　認〕

8．乳がんの早期発見を啓発する講演会講師派遣について　今 渡 理 事
・中原昌作先生を推薦する。　〔承　認〕

9．小倉南区保健・医療・福祉連携システム推進協議会及び専門部会の委員推薦について　岡部専務理事
・推進協議会委員に合馬会長、部会委員の（高齢者支援部会）に山家理事及び添田理事、（子育て支援部会）に井上理事、（生きがい・健康づくり部会）に木村理事をそれぞれ推薦したい。　〔承　認〕

10．事務局職員の夏季賞与について　岡部専務理事
・内容省略

11．生涯教育講座認定申請について　松 本 理 事
・申請者：小倉内科医会　会長 杉本英克
日　時：平成21年７月14日（火）　19：00～
場　所：リーガロイヤルホテル小倉
演　題：「肺癌のＸ線診断と外科治療～ 胸腔鏡手術の適応と今後の展望～」
新小倉病院　診療部長　呼吸器病センター　中西良一　先生
〔承　認〕

12．高額物品購入（補修）について　　加生理事

・介護支援車２台

・平成20年度より設定車両に「ヘルパー車」として、昇降シートのない安価な軽車両が追加された上、社会福祉等に係るすべての事業が対象となり、今回は訪問看護部門で申請し現在故障の多い中古車と入れ替えたい。

〔承　認〕

【報告事項】

（口頭報告）

◆　上部医師会関係

１．県医第６回・７回・８回全理事会	５月21日・５月26日・６月４日	山家理事
２．第６回・７回市医理事会	５月27日・６月10日	木村理事
３．第２回健康推進対策委員会	５月25日	今渡理事
４．第２回保険委員会	５月26日	加生理事
		添田理事
５．第３回医事調停委員会	６月８日	井田理事

◆　小倉医師会関係

１．九州医師会連合会第97回定例委員総会	５月23日・24日	合馬会長
２．福岡県医師信用組合理事会	５月25日	合馬会長
３．小倉北区社会福祉協議会・理事会	５月26日	合馬会長
４．第３回勤務医部会役員会	５月25日	松本理事
５．地域保健課小委員会	５月26日	今渡理事
６．看護学校小委員会	５月27日	大久保理事
７．小倉南区在宅ケア連絡会「ほっとスクラム」	５月28日	添田理事
		山家理事
８．ほっとスクラム世話人会	６月11日	山家理事
９．第５回建設委員会	５月28日	宇野副会長
10．小倉北在宅ケア連絡会「あい愛ネット小倉北」	５月29日	加生理事
11．小倉北区包括ケア会議	６月11日	加生理事
12．小倉南区包括ケア会議	６月21日	添田理事
13．会員異動状況について		岩田理事
14．会員異動に関する届出事項について		岩田理事

15．その他

・改正銃刀法が求める医師の診断書について　　木村理事

第 6 回 理 事 会 議 事 録

※日　時　平成21年 6 月26日（金）午後 7 時00分～午後 9 時30分
※場　所　小倉医師会館　理事会議室
※出席者　合馬、具嶋、宇野、岡部、今渡、市吉、大久保、加生、井田、岩田（欠）
木村、山家、井上（欠）、嘉多山、濵之上、添田、芳賀、田中、有留、
松村、松本　　（監事）米良、杉本、澄井

会　長　挨　拶

6 月29日に小倉医師会の通常総会が開催されます。今回は平成20年度の決算に関し承認をいただく総会です。全員の出席をお願いいたします。北九州市立医療センターの丸山副院長より、小倉における病診連携の取り組みについて質問をいただいております。また、平成22年 4 月から診療所でも予定されていますレセプトオンライン請求義務化について、日本医師会から指針が出ております。小倉医師会では先日実施いたしましたレセプトオンライン請求義務化についてのアンケート結果がまとまりましたが、今後まだ対応が不十分な会員に対してあらゆる相談を受け小倉医師会として責任を果して行きたいと考えています。総会で担当の有留先生からアンケート結果を中心に説明をお願いいたします。

中央情勢ですが、ご承知のように経済財政改革の基本指針である、骨太方針2009が閣議決定されました。内容は、来年の予算編成においては2200億円の社会保障費の削減を撤回するものの、計 1 兆1000億円の機械的削減は2011年まで継続するとのことです。これに対して日本医師会は不満を表明しております。なお、この中で来年の診療報酬改定に向けた国の予算編成を見ると、診療報酬改定の財源は、後発医薬品使用促進での捻出分のみであるというかなり厳しいものです。さらに、勤務医の過重労働軽減のための財源は診療所から病院に振り分けるなど選択と集中が来年の診療報酬改定の基本的な方針のようです。日本医師会としては大変厳しい対応が迫られると思います。

小倉医師会は公益法人制度改革に対応していかなければなりません。そのため、本年度中に新会計基準の導入準備をすすめています。小倉医師会の事業を、公益目的事業、収益事業、互助会などの共益事業、法人会計の 4 つに区分して戦略的に対応していきたいと思います。この中で難しいのは、今の事業内容を 4 つの会計にどのように区分するかの作業が必要となります。来月には具嶋副会長をチーフとするプロジェクト会議を開催して、来年 4 月の新会計基準導入に向けて急ピッチで作業を進めてまいりたいと思います。

【協議事項】

1．会員異動に関する届出事項について　　岩 田 理 事

・Ａ会員の入会　　岡部宏明　先生（おかべクリニック）

・届出事項の変更　　中原昌作　先生（中原クリニック：医療法人の設立
標榜科目の変更
胃腸科・肛門科→胃腸内科・肛門外科標榜科目の追加　乳腺外科）

東　泰宏　先生（医療法人敬天会東和病院：標榜科目の変更　循環器科・消化器科・呼吸器科→循環器内科・消化器内科・呼吸器内科　標榜科目の追加　糖尿病内科）

桶田俊光　先生（国家公務員共済組合連合会新小倉病院：標榜科目の追加
脳神経外科）

・Ｂ会員の入会　　高柳茂生　先生（医療法人濵口婦人科クリニック）

黒田直宏　先生（健和会　大手町病院）

鳥谷陽一　先生（北九州市立医療センター）

〔すべて承認〕

但し、徳永洋一　先生（とくなが小児科クリニック）については、小児科医会未集約のため継続審議とする。

2．高額物品購入（補修）について　　松 村 理 事

（臨床検査課）

・平成20年４月に特定健診開始後、血糖およびＨｂ－Ａ1Ｃ増加により、現在使用中の機器が、試薬リース満了および老朽化のため早急に購入したい。

①糖尿病検査項目自動分析装置　ＤＭ－ＪＡＣＫ　ＥＸ　　2式

・感受性検査用測定装置MIC2000は、フローズンプレート（凍結装置）測定装置（平成５年に試薬リース）で、16年経過し機器の老朽化により耐性菌も検出可能なドライプレート（冷蔵製品）測定装置に切り替えたい。但し、５年後にバイテック2と共に一体型機器に更新予定のため、５年間の機器リースで導入したい。

②微生物感受性分析装置　IA20MIC　mkⅡ　　1台

自動分注機　　イノキュレータ　β　　1台

〔いずれも承認〕

3．市民センターを拠点とした健康づくり事業」にかかる　　今 渡 理 事
校区支援の医師の推進について（日明校区・富野校区）

・日明校区は、主担当　小林誠博 先生　副担当　北川淳二 先生を推薦する。

・富野校区は、主担当　田中昌俊 先生　副担当　河野重行 先生、山田康代先生を推薦する。　〔承　認〕

4．勤務医部会総会講師派遣依頼について　松 本 理 事

・日　時：平成21年８月４日（火）19：00

・場　所：ホテルクラウンパレス小倉

・演　題：『勤務医の就労環境の改善 ～ 医療クラーク導入は医師の過重労働を軽減させたか ～』

講師として、白十字病院　渕野泰秀　先生に依頼する。　〔承　認〕

5．ニューウェーブ北九州後援会入会について　岡部専務理事

・２口（１口5,000円）で入会する。　〔承　認〕

6．看護学校リニューアル工事（第１期工事）見積業者選定について

宇 野 副 会 長

・九鉄工業㈱（門司区）

・高藤建設㈱（門司区）

・大同建設㈱（小倉北区）

・㈱瀬口組（小倉南区）

・㈱安井組（八幡西区）

以上の５社に対し、見積依頼をする。　〔承　認〕

7．理事会日程について　岡部専務理事

・前半理事会を８月７日（金）、後半理事会を８月21日（金）とする。

〔承　認〕

【報告事項】

（口頭報告）

◆　上部医師会関係

1．県医第９回全理事会		６月18日	木 村 理 事
2．第８回・９回市医理事会	６月17日・	６月24日	山 家 理 事
3．第３回救急・災害医療委員会		６月15日	有 留 理 事
4．第２回会員福祉委員会		６月15日	濵 之 上 理 事
5．産婦人科保健委員会・子宮頚部がん検診部会合同会議		６月22日	大 久 保 理 事
6．第３回広報委員会		６月22日	嘉 多 山 理 事
7．第３回保険委員会		６月23日	添 田 理 事

◆　小倉医師会関係

1．会誌編集会議	6月16日	嘉多山理事
2．臨床検査課小委員会	6月17日	松村理事
3．ほっとステーション小倉南推進協議会　子育て支援部会	6月18日	井上理事
4．小倉介護サービス事業者連絡会幹事会	6月15日	加生理事
5．『あい愛ネット小倉北』世話人会	6月18日	加生理事
6．高齢社会事業課小委員会	6月22日	加生理事
7．第２回　在宅医療福祉ネットワーク研修会	6月23日	加生理事
8．糖尿病予防戦略研究説明会	6月22日	今渡理事
9．福岡県医師信用組合総代会	6月22日	合馬会長
10．小倉医師会園医会総会	6月25日	田中理事

会員異動

会　員　数　（7月1日現在）

	5月末	月内異動	6月末
A　会　員	365	－2	363
B　会　員	379	－2	377
C　会　員	0	0	1
合　　計	744人	－4人	740人

名称変更　（医療法人設立）（H．21．6．11～H．21．7．10　提出順）

A　会　員

中原　昌作　　医療法人 千昌会　　（外・胃内肛外・乳外）
　　中原クリニック　　〒802-0832　南区下石田3－10－19
　　ＴＥＬ962-5566　ＦＡＸ962-5566

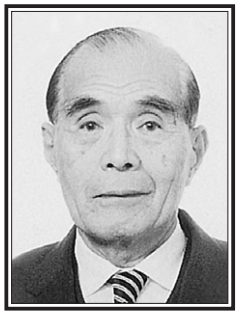
退　　会

B　会　員

月守　権一　　自宅会員　　6／14　ご逝去
伊藤　正輔　　産婦人科診療所　　6／19　ご逝去
　　マ・メール
南立純一郎　　自宅会員　　6／30　ご逝去
曽我　欣治　　社会保険 小倉記念病院

哀　悼

慎んで哀悼の意を表します。



月守　権一
平成21年６月14日ご逝去
享年101歳

昭和26年　　小倉北区昭和町に開業

伊藤　正輔
平成21年６月19日ご逝去
享年85歳

昭和26年　３月　九州大学医学部卒業
昭和26年　４月　九州大学医学部産婦人科教室勤務
昭和33年　６月　志免鉄道病院産婦人科勤務
昭和35年　７月　有田中央病院産婦人科勤務
昭和36年　３月　小倉北区木町に開業

南立　純一郎
平成21年６月30日ご逝去
享年78歳

昭和30年　３月　九州大学医学部卒業
昭和31年　４月　九州大学医学部耳鼻科教室勤務
昭和37年　７月　小倉市立病院耳鼻科勤務
昭和40年　７月　小倉北区京町に開業

臨床検査課のメンバー紹介

管理室

検査センターは、この壁画（シュバイツアー博士）の2階です。

お問い合わせ窓口として、笑顔で応対しています。宜しく、おねがい致します！

昭和36年開設以来、管理室は、先生方とのコミュニケーションをとる重要な役割を担っています。医師会立検査センターとして先生方による先生方のための検査センターとしての理念と方針を念頭に日々努力しています。

主な業務は、窓口業務・物品の発注・納品管理・収支在庫管理・検査システムの管理・職員管理などを行なっています。

① **検査データ通信システム**を平成12年9月より開始し、平成15年8月には、バージョンアップを行いインターネット接続による閲覧機能を構築いたしました。さらに、現在は先生方の診療に役立つ情報発信をできるだけリアルタイムに発信可能とするシステムを構築中です。完成は、今年の 8 月 31 日を予定しています。ご利用頂ければ、FAXでの報告が必要なくなることと思っております。

② **電子カルテへの対応**

各種電子カルテへのデータ渡しを平成 14 年より行っています。現在では、フロッピーディスク渡しおよび検査データ通信システムからのダウンロードを含め、18種類34施設の対応を行なっています。

・・・・収支管理を行なう福田あゆみ　在庫発注を行なう森畑和子　集配管理を行なう 永田和子
請求・管理を行なう坊山和江　システム管理修行中の有吉あゆみ　技師長の笠谷美津代・・・・・・

お気軽にお電話ください。宜しく、おねがいいたします。

パイプライン

骨吸収マーカー TRACP-5b

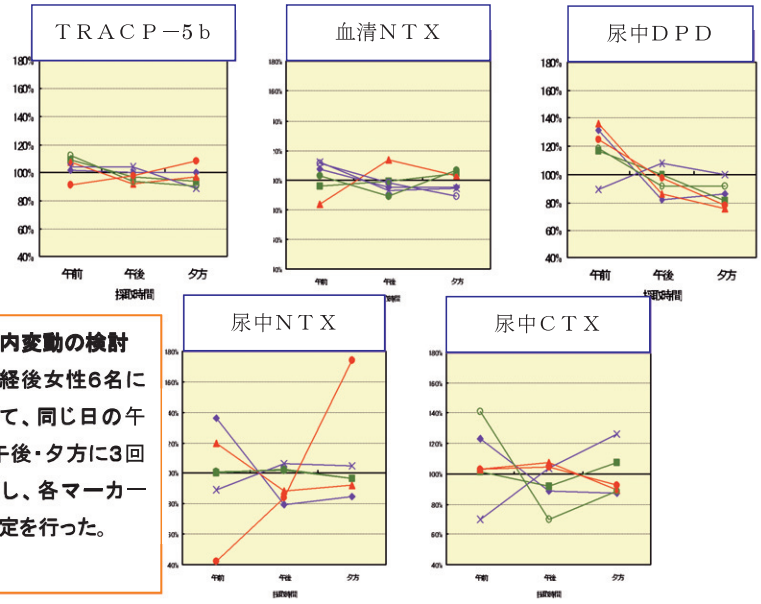
酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(tartrate-resistant acid phosphatase, TRAP)は，**食事や腎機能に影響されず**[1]，**日内変動の少ない**[2]血液を検体とする骨吸収マーカーである．TRAP にはマクロファージなどに由来する 5a 型(TRAP-5a)と**破骨細胞に由来する 5b 型(TRAP-5b)**の 2 種類のアイソザイムが存在する．最近，骨吸収状態をよりよく反映する TRAP-5b 活性を，簡便で感度よく特異的に測定できるフラグメント吸収免疫捕捉酵素測定法(fragments absorbed immunocapture enzymatic assay, FAICEA)による測定が開発された。

骨代謝マーカーは骨粗鬆症の検査・治療効果判定において、あるいは前立腺癌・乳癌の骨転移などを見る時検査する。まず骨代謝マーカーには、**骨が破壊される時に血中や尿中に出てくる骨吸収マーカー**と、**骨が作られる過程で出てくる骨形成マーカー**がある。(下記、参照)

骨吸収マーカー	Ⅰ型コラーゲン分解産物	尿	デオキシピリジノリン（ＤＰＤ）
		尿・血清	Ⅰ型コラーゲン架橋 N テロペプチド(**NTx**)
		尿	Ⅰ型コラーゲン架橋 C テロペプチド(**CTx**)
		血清	Ⅰ型コラーゲン　C テロペプチド(**ⅠCTP**)
	破骨細胞由来酵素	血清	酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ-5b (**TRACP-5b**)
骨形成マーカー	増殖期：コラーゲン前駆体断片	血清	Ⅰ型プロコラーゲン C プロペプチド(**PⅠCP**)
		血清	Ⅰ型プロコラーゲン N プロペプチド(**PⅠNP**)
	成熟期：骨芽細胞由来酵素	血清	骨型アルカリフォスファターゼ(**BAP**)
	石灰化期：石灰化調節因子	血清	オステオカルシン(**BGP**)

TRACP-5b 定量　**点数 160点**　ア　TRACP-5b 定量は、区分番号「D008」内分泌学的検査の「12」のⅠ型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)精密測定に準じて算定する。イ　TRACP-5b 定量は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に 6 月以内に 1 回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後 6 月以内に 1 回に限り算定できる。本検査を「12」のⅠ型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)精密測定、「13」のオステオカルシン精密測定、「16」の尿中デオキシピリジノリン精密測定と併せて実施した場合いずれか一つのみ算定する。なお、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、区分番号「B001」特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。(判断料：生化学的検査(Ⅱ)判断料　144 点(月 1 回につき))

TRACP-5bと他の骨吸収マーカーの日内変動



日内変動の検討

閉経後女性6名について、同じ日の午前・午後・夕方に3回採取し、各マーカーの測定を行った。

参考資料

THE MEDICAL&TEST JOURNAL

望月善子 他 医学と薬学54・895-902、2005より引用、一部改変

日内変動について、他の骨吸収マーカーの結果を示したものです。

血清を検体とするマーカーの日内変動は小さいことが分かります。尿を検体とするマーカーでは、早朝第 1 尿あるいは第 2 尿を検体とするなど、検体採取についての制限がありますが、TRACP-5b ではそのような厳密な制限は必要ではない可能性が示唆されています。

午前中に採血および採尿を行なった場合の最小有意変化

	血清中 TRAP-5b	血清中 NTX	尿中 DPD	尿中 NTX	尿中 CTX
日間変動	8.1 %	17.5 %	17.4 %	32.7 %	29.9 %
最小有意変化 (MSC)	16.2 %	34.9 %	34.8 %	65.4 %	59.9 %

骨粗鬆症などの治療効果の判定は、骨代謝マーカーの測定値の変化率が最小有意変化（MSC）を超える変化を示したかどうかで判定される。

（なお、MSCは各骨代謝マーカーについて検討された日間変動を 2 倍することで求められる。）

TRACP－5bの最小有意変化は非常に小さく、骨代謝の小さな変化をも鋭敏に捉えることができるので、治療効果の判定に適している。

検体量　：血清 0.5mL（A容器）
検査方法　：EIA 法（FAICEA 法）
所要日数　：3～9日
実施料　：160 点　判断料　：144 点
基準値　：　男性 170-590
　　女性 120-420、閉経後 250-760mU/dl

報　告

平成21年６月分諸会議並びに諸事業の実施について

１．諸会議の部

日	曜	時	会議名	主要事項
1	月	19：00～	拡大三役会	
			会誌発行	・第122号
3	水	19：00～	拡大三役会と課長との懇談会	・於：日向路
4	木	19：15～	皮膚科・泌尿器科医会総会	・於：松柏園ホテル
8	月	10：00～16：00	社保受付	・受付点検後支払基金宛送付
		19：00～	保険個別研修	・８名
		19：00～	外科会役員会	・諸報告　その他
9	火	10：00～16：00	国保受付	・受付点検後国保連合会宛送付
		13：30～	会計監査	
10	水	13：00～	私的病院会役員会	・諸報告　その他
11	木	13：30～	互助会役員会	・諸報告　その他
		13：30～	小倉北区包括ケア会議	
		14：00～	小倉南区包括ケア会議	
		19：00～	小倉南区在宅ケア連絡会「ほっとスクラム」世話人会	
		19：00～	地域医療連携意見交換会	
		19：00～	小児科医会臨床懇話会	・演題：小児に対する鏡視下手術と小さな創の手術の現況 ・演者：廣瀬龍一郎先生（市立医療センター） ・於：国立病院機構小倉医療センター
12	金	19：00～	第５回理事会	・前記報告書のとおり
13	土		整形外科会旅行	・唐津方面
14	日		整形外科会旅行	・唐津方面
15	月	18：30～	小倉介護サービス事業者連絡会・幹事会	
		19：00～	建設委員会事前打合せ	
		19：00～	内科医会役員会	・諸報告　その他
		19：00～	外科会例会･研修会	・諸報告　その他 ・演題：新しい創傷治療 ・講師：夏井　睦先生（石岡第一病院）
16	火	19：00～	会誌編集会議	
		19：30～	小児科医会役員会	・諸報告　その他
17	水	19：00～	臨床検査課小委員会	・諸報告　その他
18	木	14：30～	ほっとステーション小倉南推進協議会「子育て支援部会」	
		18：30～	小倉北在宅ケア連絡会「あい愛ネット小倉北」世話人会	

日	曜	時	会議名	主要事項
20	土	17：00～	建設委員会	
22	月	19：00～	高齢社会事業課小委員会	・諸報告　その他
		19：00～	糖尿病予防戦略研究説明会	
23	火	19：00～	在宅医療福祉ネットワーク研修会	
24	水	13：30～	総会前打合せ	
		19：00～	建設委員会事前打合せ	
		19：00～	九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会発表打合せ	
		19：00～	第257回整形外科会研修会	・演題：明日からすぐに役立つ脊椎診療の最新情報 ・講師：中村英一郎先生（産医大）
		19：00～	内科医会実地医家シリーズ講演会	・演題：内科医からみる骨粗鬆症の診断と治療 －ステロイド骨粗鬆症抑制を目指して－ ・講師：岡田洋右先生（産医大）
25	木	19：00～	園医会総会・講演会	・於：ホテルクラウンパレス小倉
26	金	19：00～	第６回理事会	・前記報告書のとおり
27	土	13：00～	就職説明会	
29	月	18：30～	小倉医師互助会総会	・議案審議
		19：00～	通常総会	・議案審議 於：ホテルクラウンパレス小倉
30	火	19：00～	小倉三師会打合せ会	

2．諸事業の部

(1) 学校生徒在籍状況

	学年組別		前月末在籍数	当月末在籍数	備考
准看護師科	一年	1組	43	43	
		2組	44	44	
		計	87名	87名	
	二年	1組	39	39	
		2組	38	38	
		計	77名	77名	
看護師科	一年		42	42	
	二年		41	41	
	計		83名	83名	

(2) 診療科別検査件数

科別	利用機関数	利用率
内科	98	73.1
小児科	12	52.2
精神科	8	57.1
外科	34	72.3
整形外科	15	50.0
眼科	11	47.8
産婦人科	19	79.2
皮泌科	10	52.6
耳咽科	10	55.6
その他	13	40.6
計	230件	63.7%

(3) 検査項目別件数

項目	件数
生化学Ⅰ	343,174
生化学Ⅱ	8,132
血液	88,415
免疫	13,326
尿糞便	4,595
微生物	17,393
病理	2,292
その他	1,367
外部委託	5,482
計	484,176件

(4) 各種検診実施状況

検診区分	検診者数
事業所	2,856
学校	748
依頼検診	83
住民健診	1,012
特定健診階層化	1,878
計	6,577人

(5) 各種予防接種実施状況

接種区分	件数	接種人員	出務人員
B型肝炎	−	−	−
ツベルクリン接種	2	82	4
ツベルクリン判定	2	81	4
計	4件	163人	8人

(6) 訪問看護ステーション

稼働日数	22
当月利用者数	163
延べ訪問回数	1,098
1日平均訪問回数	49.9

(7) ホームヘルパーステーション

稼働日数		30
当月利用者数		191
延べ活動時間	身体介護	447.5
	身体生活	1,101.5
	生活援助	388.5
	予防介護訪問	727.0
	合計	2,664.5

(8) 訪問入浴サービスセンター

稼働日数	22
当月利用者数	20
延べ訪問回数	115
1日平均訪問件数	5.2

(9) 福祉用具貸与サービスセンター

稼働日数	30
当月利用者数	112
貸与用具数	387

(10) ケアプランサービスセンター

当月立案件数		244
(内介護予防件数)		0
加算件数	認知症	55
	独居高齢者	37
	医療連携	7
	退院退所(Ⅰ)	4
	退院退所(Ⅱ)	4

(11) 地域医療支援センター

＊在宅医療に必要な医療機器を会員に無料貸出

吸引機	12
ネブライザー	4
点滴スタンド	5
パルスオキシメーター	10
血糖測定器	
輸液ポンプ	

お知らせ（2009. 8月）

庶務・保険・診療

1．8月提出の社保・国保レセプトの受付について …… 46
2．盆休み中における保険診療の加算取扱いについて …… 46
3．平成21年度福岡県医師会看護師、准看護師並びに看護補助者の
　表彰について（お願い） …… 47
4．医療政策講演会の開催について …… 48
5．「IT フェア」一日レセ及びORCA連携システム展示会一の開催について …… 48
6．第7回福岡県医師会「卒後臨床研修指導医ワークショップ」
　の開催についてのご案内 …… 50

地域保健課

1．学校医会研修旅行のご案内 …… 51

※　福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会週間コメントは、福岡県医師会ホームページ http://www.fukuoka.med.or.jp の感染症情報欄に掲載されていますのでご参照下さい。

庶務・保険・診療

１．８月提出の社保・国保レセプトの受付について

医療事務による点検日は１日（社保締切日）のみとなっております。
締切日以降の提出は送付の関係から受付しかねますのでご協力下さい。

記

医療事務点検日　　８月６日（木）９：00～16：00　１階　第一会議室

庶 務 係 受 付　　８月３日（月）～８月６日（木）８：45～17：00
（社保・労災・公害・特定疾病）　　最終日のみ16：00まで

庶 務 係 受 付　　８月３日（月）～８月７日（金）８：45～17：00
（国保・27老人重度障害者）　　最終日のみ16：00まで

※提出が遅れる場合はご一報下さいますようお願い致します。

※磁気媒体（FD等）をお預かり出来るようになりました。（事前に「覚書」の提出をお願い致します。）
　但し、磁気媒体（FD等）提出の際、医師会庶務係受付に於いて中身の確認が出来ません。データ消失等による損害賠償は出来かねますことをご了承の上、提出の際には、今一度の内容確認を願います。
　なお、提出方法につきましては、個人データが入っているFD等の破損防止のため、ケース等に入れ、磁気媒体、若しくはケース等にラベル（診療月、医療機関コード、医療機関名称、提出先（国保・社保）を記入）をお付け下さい。

２．盆休み中における保険診療の加算取扱いについて

盆休み期間中における保険診療の取り扱い解釈について、下記のとおりお知らせ致します。

記

１．盆休み閉院中は、日曜日を除き「休日加算」の算定は出来ない。
２．上記１．は、休日急患診療所または、輪番当直の医療機関においても同じ取り扱い。
３．盆休みを表示している医療機関において、盆休み閉院中に急患等やむを得ない理由により診療を行った場合「時間外」加算の取り扱いが出来る。
　なお、「深夜加算」は従来と同じ取り扱い。

３．平成21年度福岡県医師会看護師、准看護師並びに看護補助者の表彰について（お願い）

例年福岡県医師会表彰規程に基づいて実施する看護師等の表彰申請について、表彰規程第２条に基づき、下記により該当者がありましたら、もれなく申請書を提出して下さい。

なお、申請用紙は庶務係でお受け取り下さい。

記

１．申請書提出期限　８月21日（金）期日厳守

２．平成21年度表彰該当者就職年月日

10年	H10年９．１～H11年８．31
20年	S63年９．１～H１年８．31
30年	S53年９．１～S54年８．31
40年	S43年９．１～S44年８．31

福岡県医師会看護師表彰規程

第２条　福岡県医師会は、私的医療機関において下記の各号の一に該当する者ある時は、その長の申請に基づき、理事会において選考の上、これを表するものとする。

⑴多年同一医療機関に勤務し、成績が特に優秀な者

⑵その他特に表彰に値すると認められる者

２．前項第１号の表彰は、毎年８月31日現在、概ね次の基準に達する者とする。

⑴10年勤続者

⑵10年以上勤続者は10年毎とする。

３．表彰は毎年秋季に行う。

（私的医療機関の長の申請）

４．医療政策講演会の開催について

（日本医師会生涯教育講座　５単位）

標題の件につきまして、上部医師会より下記のとおり講演会開催の通知がありましたのでご案内いたします。

参加ご希望の方は　**８月21日（金）**　までに医師会庶務係（TEL　５５１－３１８１）までご一報下さいますようお願いいたします。

なお、この講演会は会員とその医療機関の従事者が対象です。

記

日　時：　平成21年９月２日（水）19：00～20：30
場　所：　福岡県医師会　５階　研修室
演　題：　「住民のための医療　－地域医療の時代－」
演　者：　慶應義塾大学大学院経営管理研究科
　　教　授　　田　中　　滋　先生

５．「IT フェア」一日レセ及びORCA連携システム展示会－の開催について

標記の件につきまして、下記のとおり上部医師会より案内がありましたのでお知らせいたします。

なお、参加をご希望される場合は申込書をお届けいたしますので医師会庶務係までご一報くださいますようお願いいたします。

対象者は会員及び医療従事者全ての方です。（展示会のみ参加の場合は申込不要）

記

と　き：　平成21年８月27日（木）14時～20時
ところ：　福岡県医師会　５階　研修室
参加対象者：　会員並びに医療従事者・事務局等
出展システム予定：
　レセプトコンピュータ　日医標準レセプトソフト（日本医師会）
　電子カルテシステム
　電子画像ファイリングシステム
　周辺機器（再来受付機、IC カードリーダー等）
　その他　レセプト電算システムの紹介
スケジュール
　14：00～20：00　全時間出展企業展示
　18：30～19：30　講　演
　テーマ　「ＯＲＣＡ・日医標準レセプトソフトの取組み状況」
　　「レセプトオンライン請求についての対応」
　講　師　日医総研　主席研究員　秋元　宏
※　全時間　入退場自由となっております。

福岡県医師会　IT フェアご案内

レセプトオンラインへの対応についての講演会
・展示会　　福岡県医師会にて開催！

レセプトオンライン請求への対応について

詳しくお答え致します。

日医標準レセプトソフト（ＯＲＣＡ）で即対応

◆日　　時	**平成２１年８月２７日（木曜）　１４：００～２０：００**
◆場　　所	**福岡県医師会　５階　研修室**
	福岡市博多区博多駅南　２－９－３０
◆参加対象者	会員ならびに医療従事者・医事ご担当
◆出展システム	・医事コンピュータ（レセコン）
	日医標準レセプトソフト（ORCA）　日本医師会
	・電子カルテシステム
	・電子画像ファイリングシステム
	・周辺機器
	・その他レセプト電算のご紹介
◆出　展　協　力	福岡ＯＲＣＡベンダー会

機器展示　　**１４：００～２０：００　全時間出展企業展示**
システム導入相談会　　**随時受付**

講演会　１８：３０～１９：３０

テーマ　　**★ORCA・日医標準レセプトソフトの取組み状況**

★オンライン請求についての対応

講　師　　**日医総研　主任研究員　秋　元　　宏**

６．第７回福岡県医師会「卒後臨床研修指導医ワークショップ」の開催についてのご案内

標記の件につきまして、下記のとおり上部医師会より案内がありましたのでお知らせいたします。

なお、参加をご希望される場合は申込書をお届けいたしますので医師会庶務係までご一報くださいますようお願いいたします。

（締切：８月25日（火）まで）

記

参加者　各医師会参加希望者（40名）
※医師会員を優先に受付します。

日　時　平成21年10月３日（土）９：00～　10月４日（日）17：30

場　所　玄海ロイヤルホテル
〒811－3514　福岡県宗像市田野1303　　TEL 0940－62－1600

方　法　１泊２日の合宿形式によるワークショップ（講習時間16時間以上）

テーマ　「卒後臨床研修プログラム立案」

タスクフォース（指導者）

倉本　　秋	高知大学医学部附属病院病院長
向原　茂明	長崎県福祉保健部参事監
森田恵美子	産業医科大学病院 産業医臨床研修等指導教員准教授
林　　弘人	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター副院長
宮下　光世	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター病院長

参加費用　医師会員：30,000円
非 会 員：60,000円

＊ 10月３日の昼食・夕食・宿泊費、10月４日の朝食・昼食費を含みます。（会場までの旅費は本会では負担しません。）

＊ 事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返却いたしません。

地域保健課

１．学校医会研修旅行のご案内

学校医会恒例の研修旅行を下記の要領で実施することとなりました。
つきましては、本会会員でない先生方のご参加も歓迎いたします。
今年は、＜鹿児島＞一泊二日の旅行です。
新幹線にて小倉駅を14時49分に出発。博多駅から新八代駅までは特急、新八代駅より鹿児島中央駅までは九州新幹線を利用します。夕食は市内にて黒豚料理のお店にご案内いたします。
２日目、まず城山を訪れます。（貸切大型バス利用）展望台からは桜島をはじめ錦江湾や鹿児島市街地を一望できます。また西南戦争の最後の激戦地となったため司令部のおかれた洞窟や西郷終焉の地など西南戦争にまつわる史跡をたくさん見ることができます。それから磯庭園を散策した後、知覧へと向います。知覧では、ご希望で“武家屋敷”と“特攻平和会館”、二つに分かれての見学となります。知覧は「薩摩の小京都」と呼ばれ、生け垣と石垣の美しい街並みを残し、昔ながらの姿で残っている屋敷内庭園は国の名勝に指定されています。知覧型二ツ屋と言われるわら葺屋根の家屋はここにしか見られない珍しい手法の建築物だそうです。また知覧は、沖縄戦の特攻基地となり多くの若者がここから飛び立ったことで有名です。特攻平和会館内には「飛燕」「隼」「疾風」などの戦闘機の展示もあり、当時の生々しいお話が聞けるのではないかと思います。悲しみでいっぱいになるのか、怒りでいっぱいになるのか、個人ではなかなか行くことがないと思いますので、ぜひこの機会に訪れてみてはいかがでしょうか。
その後、焼酎の醸造元での工場見学・試飲・ショッピングを予定しています。（あいにく「魔王」の醸造元は観光客の受け入れはしていませんでした。）
帰りも新幹線と特急を乗り継いで、小倉到着は19時16分の予定です。
先生方多数のご参加を心よりお待ちしています。また奥様ご同伴も歓迎いたします。
８月31日（月）までにご返事下さいますようお願いいたします。

記

日　　時：　平成21年10月24日（土）～25日（日）
出　　発：　10月24日（土）　14：49発　　小倉駅集合
到　　着：　10月25日（日）　19：16着　　小倉駅解散
参加費用：　約　65,000　円
申込締切：　８月31日（月）
申　　込：　会員の先生方には返信用のハガキをお送りしています。
　　会員外の先生は小倉医師会地域保健課（担当：金田）まで
直接ご連絡下さい。Tel５５１－３１８５

あとがき

ご覧になった方も多いことと思いますが、先日NHKスペシャル「激流中国病人大行列　～13億人の医療～」の再放送（NHK風に言うと「アンコール放送」）がありました。皮肉な結果となった東京都議会議員選挙の投票日当日に、首都圏で開票速報を放送する時間帯に地方局ではこの「アンコール放送」が割り当てられたようです。

ご覧になっていない方のために簡単にご説明しますと、市場経済化が加速する中国で、立ち後れた医療問題について、北京の大型病院（同仁医院）に密着し、その現実を浮き彫りにした番組でした。連日、全国から大勢の患者が押し寄せ、診察を受けるのは二日がかり、寒空の下、徹夜で並ばなければなりません。その上、火事場泥棒のようなダフ屋が大手を振って横行しており、200円ほどの診察券に40倍のプレミアを付けて患者に売りつけます。かつて国家が医療費を負担し、無料だった医療サービスが開放政策に基づく「制度改革」によって利用者負担へと変わり、さらに官僚政治の極みによる保険制度の不備から医療費が患者に重くのしかかるようになっているのです。象徴的だったのは、診察後に採血を受けたり処置を受けたりするたびに窓口に現金を差し出して次の治療室に移動する、まさに「金の切れ目が命の切れ目」としか思えない診療風景でした。

一方、医療提供側の地域間格差もひどいため、地方ではまともな医療を受けられずいよいよ症状が悪化しないと病院に行くことができません。窮余の策としてディスカウントのOTCだけで重病を治療しようとしたり、年老いた母親の治療と称して何が入っているかもわからないような点滴ボトルを購入して自宅で素人が点滴治療したり（母親の顔には明らかに浮腫があり、心不全が悪化するのでは・・・と思わせる状況でした）と、想像を絶する「在宅医療」が繰り広げられています。

自由診療制のため医療費は高額となり、庶民は親戚中から借金をして回ってようやく治療を受ける一方、大金持ちや党幹部向けの特別診療部門ではこれまた数十倍の診療費を払いさえすれば待ち時間もなく、豪華な施設で、優秀な医師の診察を受けられます。病院が独立採算となったため、儲かる医療に腐心する優れた「経営者」が医師や医療設備を導入し、大勢の患者を集めることのできる病院だけが生き残れるようになっているのです。

こうした「医療格差」のもたらすモラルハザードは、これからこの大国と人民をどこに向かわせるのか、心底心配になるような番組でした。

振り返って我が国の恵まれた公的医療保険制度を見るに付け、まだまだ捨てたものじゃない、マスコミがあおり立てる「医療崩壊」とやらに浮き足立つんじゃないよ、と言いたくなります。保健・医療・福祉全般にわたる必要以上の「あおり」が、見当違いの不必要かつ過激な「制度改革」を引き起こしはしないか、挙げ句の果ては政権交代という「危険な賭」を歓迎する風潮は勘弁してもらいたい、守るべきものは守る、節度ある政治変革を望みたいと思います。

理事　山家　滋